

各 位

上場会社名 株式会社 鳥羽洋行
 代表者 取締役社長 三浦 直行
 (コード番号 7472)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 松永 健一
 (TEL 03-3944-4031)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,000	1,640	1,760	1,000	194.32
今回発表予想(B)	20,000	1,100	1,200	700	136.03
増減額(B-A)	△4,000	△540	△560	△300	――
増減率(%)	△16.7	△32.9	△31.8	△30.0	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	25,800	2,115	2,251	1,286	242.66

修正の理由

世界的な金融危機の影響などにより、世界経済は急激に減速しております。こうした世界的な景気減速の動きは、下半期に入って一層顕著となり、総じて好調を維持してきた日本の輸出企業にも重大な影響を及ぼしております。

このような経済動向は、日本の半導体業界、デジタル家電業界、及び自動車業界等に大きな影響を与え、当第3四半期に至ってからは、一時帰休や製造ラインを停止する企業が出るほど生産調整を余儀なくされており、設備投資は一段と落ち込み回復の兆しが見えない状況にあります。

当社の販売先は、かなりの部分をこれらの業界に依存しているため、制御機器部門における半導体製造装置業界向けの空気圧機器、FA機器部門における自動車・車載部品業界向けレーザー加工機や自動化システム、及び産業機器部門の無人搬送車等の売上が販売計画を大幅に下回ってきております。また、得意先から強いコストダウン要求を受け利益率の維持も厳しくなりつつあります。

当面、景気が急速に回復することが見込めない状況のもとで、比較的需要の見込める産業用ロボットを中心としたFA機器の販売に注力するとともに、全社総力を挙げて経費削減に取り組み利益の確保にも注力してまいります。売上高の減少及び利益率の低下を踏まえて、通期の業績見通しは売上高は200億円、営業利益は11億円、経常利益は12億円、当期純利益は7億円となる見込みです。

以上の通り、平成20年11月5日付の当社「平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)」で公表しました平成21年3月期通期の業績予想を修正いたします。

(注)上記の業績の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により記載の予想数値とは異なる可能性があります。

以 上